

平成 25 年 5 月 16 日

DARAZ コミュニティ放送 第 15 回番組審議会議事録

株式会社DARAZ コミュニティ放送

1. 開催年月日 平成 25 年 5 月 16 日 (木) 16:00~17:00

2. 場所 鳥取県米子市法勝寺町 70 番地
DARAZ CREATE BOX 2 階会議室

3. 出席状況 総委員数 6 名
出席委員数 2 名
欠席委員数 4 名
出席委員の氏名 本城祐子 委員長
大原啓道 委員

放送事業者側出席者名

代表取締役社長 富田寛
番組制作業務部長 永富久之
経営企画室長 遠藤彰

4. 議題

○ 番組についての審議

5. 審議の内容

① 番組についての主な意見

○ 米子青年会議所 presents ジモッチ LOVE 木曜日 15:30~15:45

パーソナリティ 安井徹男、米子青年会議所メンバー

<大原委員>

- ◇ がいな祭りがテーマとなっていて、明確な目的意識があり分かりやすかった
- ◇ いろいろな活動を行っていが伝わっていないことが現状である

<本城委員>

- ◇ 地道な社会貢献活動を伝えていけばリスナーに伝わる
- ◇ 番組のコマーシャルが企業名の羅列のような感じである

○ Chelip のぷぷぷ 土曜日 23:00~23:15

パーソナリティ Chelip

<大原委員>

- ◇ 番組の目的、しゃべっている内容が分からないというのが印象である
 - この番組は、スポンサーがついていないがDARAZ FMとして若者の表現活動を応援しようとする地域貢献的な番組
- ◇ 若者に夢を与えるという意味では、大変有意義である

<本城委員>

- ◇ DARA Z FMの番組ラインナップの一つとしては面白い
- ◇ 同世代の人たちが聞く感じの番組
- ◇ リスナー向けの話ではなく自分たちのしゃべりたいことを話している
- ◇ 彼女たちがこの番組をきっかけとしてブレイクしてくれたらいい
 - ファンから多くのお便りが来ている

6. 審議機関の答申、または改善意見に対してとった措置

- ◆ 開局時から個性のある番組を作りたいとの思いがあり、今回審議してもらった番組は、そのような観点からは個性的な番組である
- ◆ 開局の目的でもある地域の人たちに表現活動の場を与えるために個性的な番組を作っていきたい
- ◆ 審議の中で出た意見を制作者に伝えて番組に活かしていきたい

7. 審議機関の答申、または意見の概要公表

事務所に備え置き 平成 25 年 5 月 21 日

ホームページに掲示 平成 25 年 5 月 22 日

8. その他の参考事項

特になし